

3月の平均東西指数が有効であることはまちがいないところであるが、必ずしも一対一の対応を示さないので、2, 3月の極東の Flow Pattern と北半球の偏差分布を同時に併用総合することが必要である。ただし、1951~1959年と1960~1968年の期間で、太平洋高気圧と東西指数が逆になっていることは興味あることで、この事実が周期的なものか、そしてどのくらいの周期で起こっているのか今後の課題として残されているように思われる。

最後に尾崎康一、久保木光熙両氏にいろいろ御教示をいただき厚く感謝します。

参考文献

- 柳井迪雄・丸山健人, (1969): 熱帯成層圏大気の運動—準2年振動と大規模波動について, 天気, **16**, 241-242.
- Wilson and Godson, (1900): Structure of the arctic winter stratosphere over a 10 year period. Quart. J.R. Meteor. Soc, **89**, 205-224.
- 古賀晴成, (1966): 季節天候予報の確立のため下部成層圏の温度—気圧場における特徴の考察, グロース・ベッター, 4巻3-4合併号, 25-32.
- 朝倉 正, (1967): 夏期における大気の偏西風じょう乱と天候, 昭和41年度全国長期予報技術検討会資料 (プリント), 21-55.

北海道支部研究発表会開催のお知らせ

北海道支部では、札幌管区気象台と共催で昭和45年度研究発表会を下記により開催します。

1. 期 日: 12月3日 (木), 9時~17時
2. 会 場: 札幌管区気象台大会議室
3. 研究発表募集
 - 1) 申込締切: 10月20日 (火)
 - 2) 申 込 先: 札幌市北2条西18丁目 札幌管区気象台調査課内 気象学会支部事務局
- 3) 講演時間: 15分以内
- 4) 予稿の提出: 講演申込者には所定の用紙を送付するので、予稿を11月10日 (土) までにの申込先へ必ず提出すること。

日本気象学会第16期役員ならびに委員追加と訂正

天気 Vol. 17, No.8 (表紙3) に掲載のリストに脱落と誤りがあったので、下記のとおり訂正する。

4. 担当理事および委員 (担当理事は委員をかねる)
 - 7) 気象研究ノート編集委員
担当理事 川村 清 (委員長), 伊藤昭三, 神山 恵三
 - 8) 講演企画委員
担当理事 大井正一 (委員長), 関口理郎, 藤原美幸, 朝倉 正, 小沢 正, 木村竜治, 穴戸信行, 清水正義, 館 英男, 内藤恵吉, 丸山清人, 門脇俊一郎, 田端 功
 - 11) 気象学長期計画委員
担当理事 岸保勘三郎, 小平信彦, 駒林 誠, 窪田正八 (委員長), 小野 晃, 浅井富雄, 片山 昭, 矢野 直, 竹田 厚
 - 12) 外国文献集編集委員

- 担当理事 大井正一 (委員長), 須田 建, 新田 尚, 根本順吉, 小沢 正, 蔵重 清
 - 13) 正野記念論文集編集委員
担当理事 岸保勘三郎, 関口理郎, 窪田正八 (委員長), 須田 建, 河村 武
 - 14) 学会賞委員 (委員長未定)
担当理事 北川信一郎, 浅井富雄, 小平信彦, 小林禎作, 増田 善信
- (ゴシック活字により訂正または追加を表わし、全体として正しい構成を示す。また、気象集誌編集委員のうち、二宮洗二は二宮洗三の誤りです。)
- なお、選挙管理委員会委員は下記のとおりである。
- 委員長 窪田正八
委員 安藤隆夫, 浅田暢彦, 大河内芳雄, 北出 武夫, 新田 勲